



特
集
号

「わくわくひろば」お陰様で1年半。皆様の見守りに感謝！ & またまたやるよー「わくわくひろばの国」よろしくねー！



「わくわくひろば」って「学校の休み時間みたいな所」かな。

2006年の終わりにあたりちょっと振り返って考えてみると1年半の間に随分いろんな事をしてきたものです。

「わくわくひろば」は、勉強とか特定のスポーツや習い事をするところではなく、ただ、みんなが集まって適当に遊べる場所を理想に作られた所です。



異年齢で遊べる所。いろんな子がいて、「手加減」を覚える所。教えたり、習ったり、伝えたり、覚えたり、嫌だなあと思ったり、良いなあと思ったりする所。与えられたモノで指示された通りに遊ぶのではなく自分達で遊ぶ所。

人数がある程度揃って「やる人ー！」と仲間集めがすぐ出来る所。

全員参加のイベントは月に1回程度で、後のイベントは参加自由のもの。スタッフが用意する時も、遊びモノを持って大人が遊びに来てくれる時もある。いろんな物や気持ちややり方をインプットしたら、アウトプットする機会が「わくわくひろばの国」だ！



「わくわくひろばの国： 子どものための、子どもによる、子どもの国」

大人は企画・準備・実行の『手伝い』はするが、『代行』はしない。「子どもに出来ない部分は大人が手伝う。でも、出来るなら(例え時間が掛かっても)できるだけ子どもがやる」これが「わくわくひろば」の極意なのだ。(ついでに、いくら子ども主体でも、勿論何でもOKという訳ではない。)



子どもと遊んでいると、つくづく思うこと

子どもは、納得できるルールはきちんと守るし、その方が楽しいと知っている。そのためには、大人がフェアである事が一番大事かもしれない。

